

平成21・22年度

鳥取市政懇話会

「鳥取市版アジアゲートウェイ構想」部会 意見・提言書

【開催実績】

- (第1回) 平成21年 8月28日
- (第2回) 平成21年11月17日
- (第3回) 平成22年 1月20日
- (第4回) 平成22年 6月 3日
- (第5回) 平成22年 8月31日
- (第6回) 平成22年12月 7日

【はじめに】

- 本市は鳥取自動車道、鳥取港、鉄道の主要駅、鳥取空港と、陸・海・空の重要施設がきわめて近接して位置する類まれな交通の要衝である。
- 鳥取自動車道の開通を迎える今こそ、この環境を最大限活かし、アジアの成長と活力を本市へ取り込み、新たな創造と成長を実現する地域戦略を展開することが必要である。
- 関西広域連合の設立も視野に入れながら関西圏との連携を格段に高めるなかで、アジアに開かれた鳥取市を具体化するために、本市を北東アジアの玄関口と明確に位置づけ、物流の拠点としての機能を高めることが重要である。
- そのための諸施策、施策立案の考え方などを、当部会の6回の議論のまとめとして次のとおり提言する。

【主な意見・提言】

1 交流・観光

(1) 状況調査

DBSを活用した観光ツアー・観光客の実態把握

(2) 受け入れ態勢の充実

- ・日本の伝統的な雰囲気味わってもらうため、鳥取城跡等、観光資源の活用
- ・極東ロシア、韓国、中国人観光客のための観光情報の作成
- ・ショッピングにあたって、ブランド品を扱う店の誘致
- ・ロシア、韓国、中国料理を扱う店の誘致
- ・米子空港→関西空港のお客を滞在させる方法の検討
- ・県内にある中国、韓国関連の観光資源の発掘、整備
- ・両替サービスの拡充
- ・海外に対応できる鳥取市職員の養成

(3) 旅行商品造成のための企画

- ・高校生・大学生（鳥取大学、環境大学）交流
- ・日帰りではなく、3・4泊プランの企画作り
- ・洋上セミナー等による、乗船時間の有効利用してもらう工夫作り
- ・外国人観光客向けの列車乗り放題切符の検討
- ・個人、外国人観光客向けの周遊きっぷの検討（バス乗り放題など）

(4) 誘致PR

大阪とのアクセスの良さを強調した鳥取の宣伝
韓国ドラマのロケ地にもなっている点

2 物流

(1) 情報収集

- ・官・民の情報交換
- ・海外で売れるものの調査
- ・極東ロシアへの農作物の輸出の検討
- ・日本の農産物のマーケティング評価・分析
- ・果物輸出の可能性の探求

(2) PRチラシ作成

鳥取に今ある資源の再確認・再認識
情報処理端末も含め、様々なメディア展開

(3) DBSの貨物活用促進

- ・農作物の規格品以外の販売検討
- ・食材等、消費物輸出の販路の開拓
- ・貨物の輸送の荷物の確保

(4) 研修会等の開催

輸出に関する知識取得のための研修実施